



NACS smile

NACS ビジネス 2030

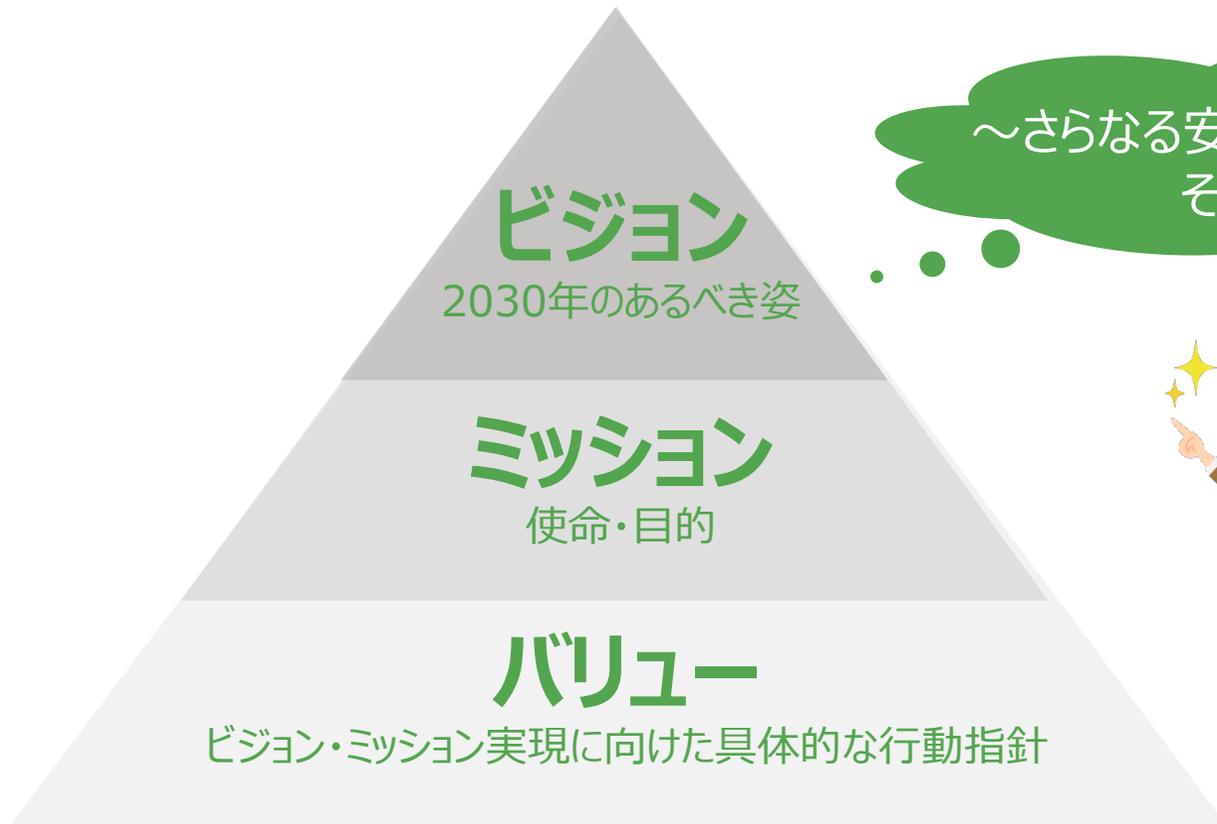
NACS NIPPON
ASSOCIATION
OF
CONSUMER
SPECIALISTS

2021年6月



1. NACS ビジョン 2030とは？

- ◆ 現在の会員、時代や社会が求める消費者団体・消費生活専門団体像をクリアにするため、そのアイデンティティの再確立に向け、どのような活動をしていくのか（ミッション・ビジョン）を明確化することを目指し、執行部インタビュー、代議員アンケート、外部インタビュー等を踏まえて策定



～さらなる安全・安心な暮らし、
そして持続可能な未来へ～





～さらなる安全・安心な暮らし、そして持続可能な未来へ～

私たちは、社会環境の変動にしなやかに対応し、消費生活全般において、安全・安心に暮らせる社会の構築に貢献します。

★ ひらがなを使用することで、**和かさ、親しみやすさ**を表現

- ◆ 私たちの暮らしに欠くことのできない安全・安心を更に進め、持続可能な未来を目指し、2030年に向けて取り組む思いを最初に掲げました。
- ◆ **VUCA**※2の時代あって、大きく急激な変化にも、柔軟かつ強靱に対応し、消費生活全般について、安全・安心に暮らせる社会づくりに貢献することを示しています。



※2

VUCA = 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態

Volatility 変動性

Uncertainty 不確実

Complexity 複雑

Ambiguity 曖昧性



3. ミッション – 使命・目的 –

消費者の権利の擁護および利益の増進に関する事業を行うとともに、企業、地域社会、行政等**多様なステークホルダーと協働**し、消費者利益と企業活動の**調和がとれた持続可能な社会の形成**に貢献します。

- ◆ 定款に記すNACSの目的を、わかりやすく、またこれからの時代に寄り添う表現。
- ◆ 企業、地域社会等、様々なステークホルダーと協働することや、持続可能な社会の形成への貢献についても、意欲を持って提示。





4. バリュー — ビジョン・ミッションの実現に向けた具体的な行動指針 —

1. 時代の変革がもたらす新たな便益をすべての消費者が享受できる社会の構築に取り組む

消費者を「誰一人取り残さない」という言い方ではなく、“デジタル化やイノベーションなどによってもたらされる新しい様々な便益をすべての消費者が享受できる社会の構築”、と前向きな取組に変え、最初の行動指針にしています。

2. 社会の一員として、消費者課題への対応力の向上と自律性を醸成する消費者教育・啓発の推進

NACSの活動の三本柱の一つ、「消費者教育・啓発」について、持続可能な未来を形成する一員として、“消費者が課題に対応する力の向上”や“自律した消費生活を営むこと”を目指して推進することを示しています。

3. 様々な要因によって生じる消費者問題の解決に取り組む

NACSの活動の三本柱の一つ、「消費者トラブルの解決」について、“様々な要因によって”、と多様化・複雑化・高度化する消費者問題を幅広く受けとめ、解決に向けて取り組むことを示しています。

4. 消費者、企業、行政及び地域社会等とのハブとして連携・協働を進める

NACSの活動の三本柱の一つ、「行政・企業・消費者団体等との連携」について、消費者に最も近い地域社会もステークホルダーとして明記し、架け橋から“ハブ”へと能動的に各ステークホルダーを中継していく意思を、“連携”に“協働”を加えて示しています。

5. 会員の多様性、専門性、先見性を活かした相互研鑽と活動の場を創出

NACSの人財の特徴を最大限に尊重（＝ダイバーシティ&インクルージョン）しつつ、様々な会員の満足度の向上も図ることを含めて、様々な機会を創出することを示しています。